

令和三年 城下町「からつ」俳句コンクール作品選

選者 日本伝統俳句協会評議員

唐津観光俳句会会長 田邊虹志 選

特選一句

万緑や海と陸統ぶ唐津城

福岡県古賀市

多田恵子

入選三句

小さき掌に零れ落ちるや雛あられ

福岡県系島市

吉村逸子

弓形の湾に薫風唐津城

鹿児島県鹿児島市

藤崎トク子

鶴城にひびく笛の音曳山ばやし

佐賀県唐津市

古賀純子

佳作十五句

唐津城眼下の藤に癒されて

大分県白杵市

吉賀京子

梅香る空にそびえる天守閣

福岡県福岡市

志岐貴之

舞鶴の翼休める冬日向

佐賀県佐賀市

明珍洋平

春風に誘はれ城下ひと巡り

佐賀県唐津市

山口高明

島々を浮かばせ玄海春の風

佐賀県佐賀市

吉富利子

海望む高樓の窓春霞

福岡県太宰府市

田中一夫

波紋揺れ虹の松原風薫る

鹿児島県志布志市

坂口尚子

春の日の空いっぱい唐津城

福岡県福岡市

井上幸男

魏の国の使者も通いし春の海

東京都東村山市

田口冬樹

わだつみの色は翡翠に五月来る

岐阜県岐阜市

柴田恭雨

玄海の風が届ける蝉しぐれ

福岡県久留米市

豊田雄介

風の色秋の憂いを帯びてゐる

福岡県大牟田市

平井裕子

石段の影に残れり蝉の声

福岡県春日市

林 朝子

天守閣潮風薫る唐津湾

福岡県北九州市

黄原 風

秋空に虹の松原横たわる

福岡県系島市

西田祐太